

修了生挨拶

本日は私たち修了生のためにこのような盛大な式を挙げていただきまして、誠にありがとうございます。また、ご多忙のところ、プログラム担当の先生、専任教員の先生・御来賓の皆様のご臨席を賜りましたこと、修了生一同深く御礼申し上げます。

卒業の季節を迎えまして、私は、グローバス安全学トップリーダー育成プログラムでの日々を振り返ってみると、この三年半は充実かつ貴重な経験だと、深く感じております。リーディングプログラムの授業、自主計画、インターンシップなどの実践を通じて、自分の専門知識だけではなく、リーダーシップ・目標設定能力・俯瞰力等の様々な能力を伸ばすことが出来ました。さらに重要なのは、本プログラムを通じて、優秀なる院生諸君と知り合いになれたことです。院生のみなさんは日本および世界各国からやってきた、各分野の未来のリーダーを目指す逸材です。みなさんと議論・協力・競争を行うなかで、そのまじめな態度、全力を尽くすチームワーク、丁寧な対応が私にとって一番印象深いです。こういった素質は知らないうちに、自分に影響をあたえていて、これらの影響はまさに知識の伝授より人の未来を助けるだろうと思っています。

私から見ると、こういった素質はリーダーに対して、専門能力や他の様々な必要な能力と同様に、必要不可欠なものです。リーディングプログラムが求める人材の持つべき各種能力のなかで、たとえば、リーダーシップ・コミュニケーション能力・国際性などは、社会的な能力です。つまり、個々人に適応な能力を持たせることだけではなく、チームメンバーの信頼性及び影響力を得なければ、リーダーになれないわけです。良好なチームワークの構築というのは、上述のまじめさ、全力を尽くすこと、丁寧さといった素質にあり、言い換えれば、グローバルリーダーが持つべき人間力とも言えるでしょう。こういった素質の向上は、自分の専門知識・能力以外に、リーディングプログラムでいただいた一番大切なものだと思っています。

今後、一番重要なのは、過去三年半で身につけてきた知識と能力を、実践することです。グローバルリーダーとして持つべき人間力を磨いていき、グローバルリーダーということに対してますます理解を深めて、そのなかで絶えずに真のグローバルリーダーに近づいていきます。それと同時に、一留学生として、今の時代では、国際交流や共同研究の重要性は強く感じております。中国の大学で就職した後、本プログラム及び各先生方と常に連絡をとり、できる限りリーディングプログラムのために貢献したいと思っています。

最後になりますが、トップリーダープログラムの管理・維持にご尽力くださり、私たちに貴重な学びの機会を与えてくださったプログラム担当の先生方、至らない私たちをご指導・ご配慮くださいました専任教員の先生方、学生生活をご支援くださいました職員の方々、およびこの三年半、ともに過ごし、ともに切磋琢磨し、助けていただき、それを通じていい思い出を残してきた学生諸君に心からの御礼を申し上げます。リーディングプログラムの発展をお祈り申し上げ、あいさつとさせていただきます。

平成 29 年 9 月 26 日

修了生 ハオ リンフェイ